



ポリシーを使用したスマート ライセンシング FAQ

・ [ポリシーを使用したスマート ライセンシング FAQ \(1 ページ\)](#)

ポリシーを使用したスマート ライセンシング FAQ

ポリシーを使用したスマート ライセンシング

1. ポリシーを使用したスマート ライセンシングとは?

ポリシーを使用したスマート ライセンシングは、スマート ライセンシングの進化版です。

ポリシーを使用したスマート ライセンシングにより、お客様のデイズロ運用が簡素化されます。製品は評価モードで起動せず、製品ソフトウェアごとの登録は不要で、30日ごとにCisco Cloudと継続的に通信する必要はありません。ただし、ライセンス使用の遵守にはソフトウェアレポートが必要です。次の方法でレポートを実行できます。

- シスコの工場から。すべての新規購入が注文のスマート アカウントを含む場合
- Smart Software Manager (SSM) オンプレミス (バージョン XXXX)
- Cisco Smart License Utility (CSLU) Lite - Windows アプリケーション
- サードパーティシステム用の API/CLI 経由
- スマート アカウントに直接

2. Smart Licensing Using Policy は、どのプラットフォームとソフトウェアリリースでサポートされますか。

ポリシー リリース 10.2(3t) を使用したスマート ライセンシングは、Cisco Nexus 3550-T プラットフォームスイッチをサポートします。強制ライセンスとエクスポートライセンスは、Cisco Nexus 3550-T プラットフォーム スイッチではサポートされていません。

3. レポートはどれほどの頻度で必要ですか。

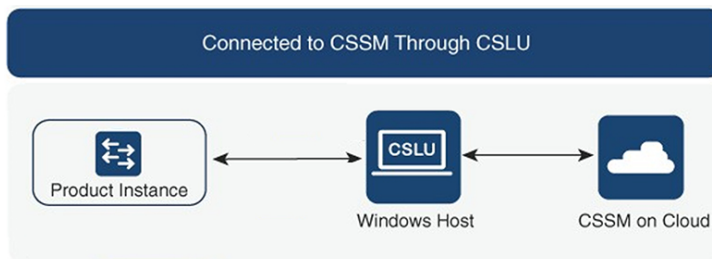
- レポートは、ソフトウェアの使用に変更があった場合にのみ、90日以内に必要となります。
- 継続的なレポート頻度：365日
- 非強制/非輸出、最初のレポートは90日以内に必要です。

4. Cisco Smart Software Manager (CSSM) に接続するためにサポートされているトポロジは何ですか。

サポートされているトポロジは次のとおりです。

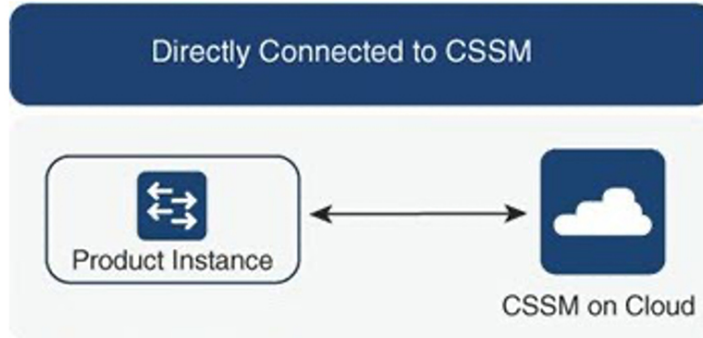
トポロジ 1: CSLU を介して CSSM に接続

図 1:



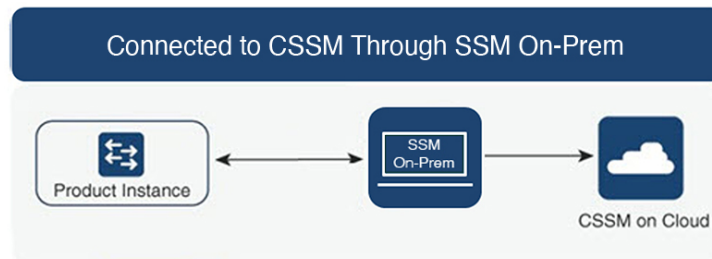
トポロジ 2: CSSM に直接接続

図 2:



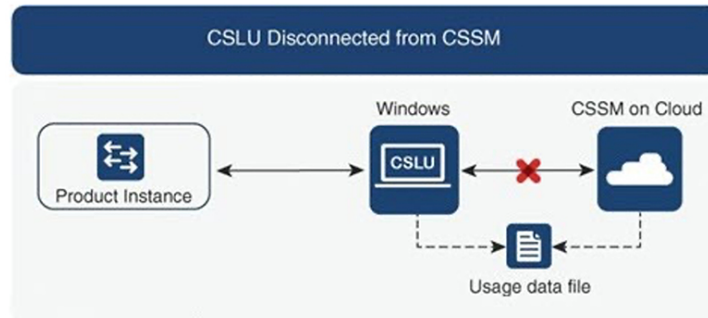
トポロジ 3: SSM オンプレミスを介して CSSM に接続

図 3:



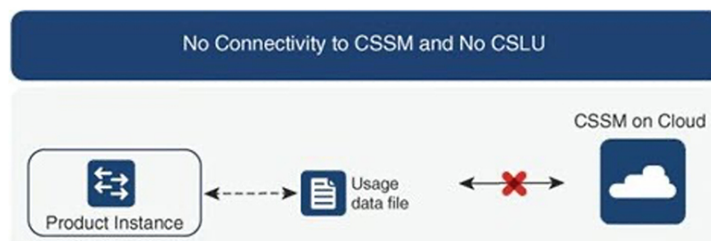
トポロジ 4: CSLU は CSSM から切断

図 4:



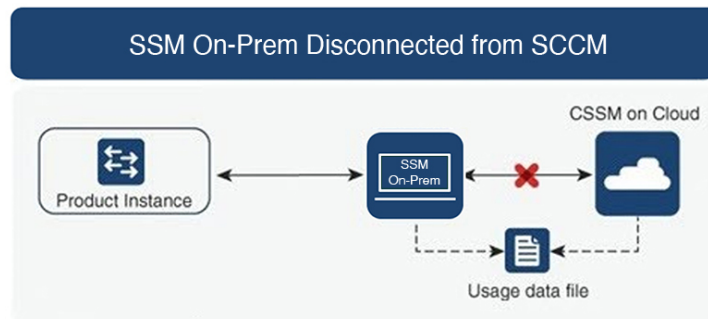
トポロジ 5: CSSM への接続なし、CSLU なし

図 5:



トポロジ 6 : SSM オンプレミスは CSSM から切断

図 6:



5. お客様は、どのようにソフトウェア使用状況を報告しますか。

Cisco Smart Licensing Using Policy には、ソフトウェアの使用状況をレポートするための、オンラインモードとオフラインモードを使用するさまざまなレポートオプションが用意されています。

- オフラインまたは直接接続モードのスイッチから。
- Cisco Smart License Utility (CSLU) Lite - Windows アプリケーション
- SSM オンプレミス
- API 経由で CSSM に直接接続

6. お客様はトラストトークンをインストールする必要がありますか。

いいえ。お客様が CSSM への直接接続を使用していない限り、1 回ごとに信頼できる情報交換が確立されます。

7. スマートアカウント/バーチャルアカウントは、デフォルトでポリシーを使用したスマート ライセンシングに移行されますか。それともリクエストが必要ですか。

2020年11月以降、スマートアカウント/バーチャルアカウントでは、ポリシーを使用したスマート ライセンシング機能が有効になります。スマートアカウントの移行は不要です。

8. スマートアカウント内のすべてのバーチャルアカウントで、Smart Licensing Using Policy が有効になっていますか。

はい。

9. ポリシーを使用したスマート ライセンシング対応 SA/VA は、ポリシーを使用したスマート ライセンシング以外のイメージを処理できますか。

はい

10. ポリシーを使用したスマート ライセンシング以外の場合は、ポリシーを使用したスマート ライセンシング SA/VA に接続できますか？

はい。

11. 既存のソフトウェア サブスクリプション階層に変更はありますか。

いいえ。ソフトウェア サブスクリプションの階層は変わりません。

12. リリース10.2(3t) は、ポリシーを使用したスマート ライセンシングのみをサポートしますか？

リリース 10.2(3t) 以降のデバイスでは、ポリシーを使用したスマート ライセンシングのみがサポートされます。

13. ポリシーを使用したスマート ライセンシングに移行した後、最初のレポートを送信するまで最大どれくらいの時間がかけられますか。

90 日以内にレポートが必要です。

14. 誰がポリシーを決定しますか。また、1 台のデバイスにいくつのポリシーを適用できますか。

CSSM は、製品に適用されるポリシーを決定します。特定の時点で使用されているポリシーは 1 つだけです。

15. ポリシーはハード要件ですか。

ポリシーはシスコからの要件です。これはデバイスのソフト要件であり、機能制限ではありません。

16. Cisco Smart Licensing Utility (CSLU) とは何ですか。

Cisco Smart Licensing Utility (CSLU) は、シスコ製品からのソフトウェア使用状況レポートの受信または収集を自動化し、ソフトウェア使用状況を Cisco Smart Software Manager

(CSSM) のスマートアカウントにレポートするために使用される Windows アプリケーションです。

17. CSLU をインストールするための最小 Windows システム要件は何ですか。

コンポーネント	最小	推奨
ハードディスク	100 GB	200 GB
RAM	8 GB	8 GB
CPU	x86 デュアルコア	x86 クワッドコア
イーサネット NIC	1	1

18. CSLU の主な機能は何ですか。

- 製品インスタンスからプッシュモードまたはプルモードでライセンス使用状況レポートを収集します。
- 課金情報および分析のために使用状況レポートを CSSM に保存および転送します。
- CSSM からポリシーと承認コードを取得します。
- スタンドアロンのマイクロサービスとして展開できます。
 - Windows ホスト (最大 10,000 製品インスタンス (PI))
- ソフトウェアコンポーネントとしてコントローラベースの製品と統合することもできます。
- マイクロサービスの展開方法に関係なく、ライセンスデータのオンラインまたはオフライン接続モデルを提供できます。

19. CSLU のレポート形式は何ですか？

CSLU レポート形式は、ISO 19770-4 標準 RUM レポート形式に基づいています。JSON 形式で提供され、信頼モデルごとに署名されます。

20. ソフトウェア使用レポートを収集するためのさまざまなツールにはどのようなものがありますか。

お客様は、NX -OS で利用可能なさまざまな API のセットを使用できオン

21. シスコはどのようなデータを取得しますか。

ポリシーを使用したスマート ライセンシングをサポートする各シスコ製品のソフトウェア調整に必要なデータフィールドを以下に示します。

UDI	ハードウェア製品シリアル番号
SN	ソフトウェア固有 ID シリアル番号

UDI	ハードウェア製品シリアル番号
ソフトウェアパッケージと登録 ID	ソフトウェア製品パッケージおよび権限付与タグ
カウント	ライセンス権限ごとのソフトウェア使用カウント
タイムスタンプ	ソフトウェア利用資格ごとの変更と使用

以下は、ポリシーを使用したスマートライセンスをサポートする各シスコ製品のソフトウェア調整用オプションのデータフィールドです。

SA-VA レベル 1	例：エンティティ (SA にマップ)
SA-VA レベル 2	例：GEO (SA にマップ)
SA-VA レベル 3	例：部門 (SA にマップ)
SA-VA レベル 4	例：建物 (SA にマップ)
SA-VA レベル 5	例：部屋 (SA にマップ)
フリーフォーム	データがシスコに戻らない
フリーフォーム	データがシスコに戻らない

(SA = スマート アカウント、VA = バーチャル アカウント)

22. ポリシーを使用したスマートライセンスはどのようにデバイス交換 (RMA) と連携しますか。

これは、CiscoTAC を通じて実現できます。

23. ライセンスの機能施行タイプにはどんなものがありますか。

機能制限タイプは、ライセンスを使用する前に認証が必要かどうかを示します。ライセンス施行には次の 3 つのタイプがあります。

- 非強制：非強制ライセンスは、エアギャップネットワークで使用する前に認証を必要とせず、このようなライセンスの使用条件は、シスコエンドユーザライセンス契約 (EULA) に従います。
- 強制：この強制タイプに属するライセンスは、使用前に認証が必要です。必要な承認は承認コードの形式であり、対応する製品インスタンスにインストールする必要があります。



(注) リリース 10.2(3t)では、強制されていないライセンスのみがサポートされています。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。